

科目名	ソーシャルワーク実習（久保）						
	【社会福祉士必修】						
授業形態	実習	学年	2年	開講時期	通年	単位数	4単位
担当教員	久保 美由紀						

内容および計画	<p>社会福祉実習は、社会福祉士国家試験受験資格を取得するために必要な社会福祉現場で行う実習であり、本学では23日間以上、かつ180時間以上の実習時間を設定しています。</p> <p>法定の社会福祉機関・施設等での相談援助実習をとおして、社会福祉に関する相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し基本的な技術等を体得することを目的としています。また、社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、課題把握能力等の総合的な社会福祉援助実践者としての能力の習得や関連分野の専門職との連携のあり方等について実践的に理解することをめざします。</p> <p>実習期間中には、実習指導者による日々の指導を受け、また実習指導担当教員の巡回指導をとおしてそれぞれの実習先である社会福祉機関・施設等において次のような事項について学ぶことになります。なお、具体的な実習の内容は、それぞれの実習先により異なります。</p>
---------	--

1	社会福祉専門職としての基本的なコミュニケーション能力や人間関係の形成
2	利用者理解とそのニーズ把握
3	利用者のニーズにもとづく支援計画の作成
4	援助関係の形成
5	利用者等への権利擁護と支援
6	チームアプローチの実際
7	社会福祉士としての職業倫理
8	社会福祉機関・施設におけるサービスの管理運営の実際
9	地域の社会資源としての社会福祉機関・施設の役割やその職員の役割
10	
11	
12	
13	
14	
15	

教科書	
-----	--

参考書	
-----	--

成績評価	同時履修の社会福祉実習指導 での学習状況、実習記録をはじめとした現場実習での学習状況、実習先からの実習評価等をふまえ総合的に評価をします。
------	---

学習到達目標	<p>社会福祉に関する相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し基本的な技術等を体得する。</p> <p>社会福祉士として求められる資質、技術、倫理、課題把握能力等の総合的な社会福祉援助実践者としての能力の習得や関連分野の専門職との連携のあり方等について実践的に解する。</p>
--------	---

先修条件	社会福祉実習指導、社会福祉学概論、社会福祉援助技術、社会保障論、児童家庭福祉、障がい者福祉論、高齢者福祉論
------	---

その他	社会福祉実習のみの履修はできません。必ず社会福祉実習指導 を同時に履修する必要があります。
-----	---